

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

平成25年11月18日(月)～11月24日(日)〔平成25年第47週〕の感染症発生状況

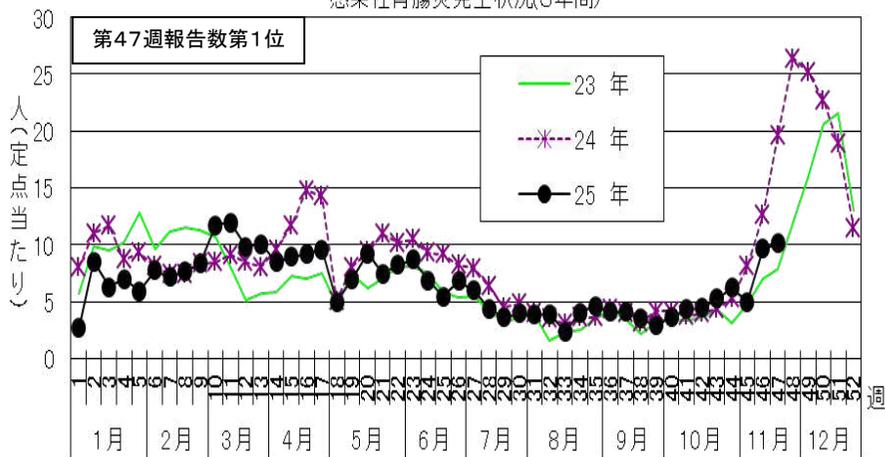
第47週で定点当たり報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 咽頭結膜熱 でした。

感染性胃腸炎は定点当たり10.12人と前週(9.64)より患者報告数は増加しており、12月に向けて急激な増加が推測されます。

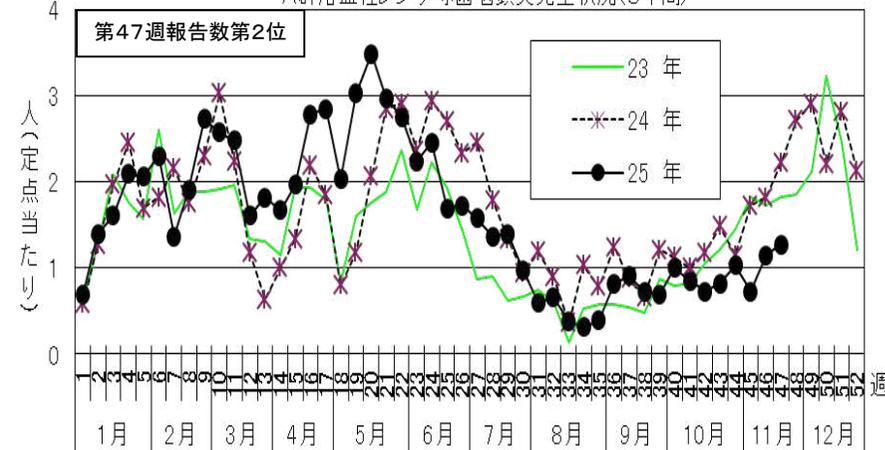
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は定点当たり1.27人と前週(1.15)より患者報告数はわずかに増加しましたが、例年より低いレベルで推移しています。



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



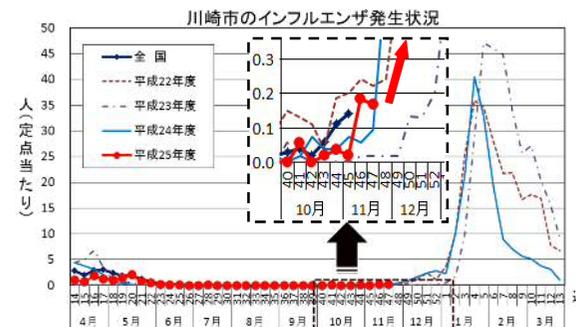
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



インフルエンザワクチンの接種はお早めに！！

川崎市では、11月以降、インフルエンザの患者報告数が徐々に増えつつあります。また、全国的にもインフルエンザによる学級閉鎖等の報告がみられるため、今後の予防対策が重要です。

インフルエンザは例年12～3月頃に流行します。ワクチン接種による効果が出現するまでに2週間程度かかるため、ワクチン接種を予定している方は、早めに接種を受けましょう。



インフルエンザワクチンQ&A

昨年ワクチンの接種を受けましたが今年も受けた方が良いでしょうか？

ワクチンの予防効果が期待できるのは、接種後2週間から5か月程度までとされています。

インフルエンザワクチンは、そのシーズンに流行が予測されるウイルスに合わせて製造されているため、毎年ワクチン接種を受けた方がよいとされています。

今年のワクチンはどの種類のインフルエンザに効果があるのですか？

- 今年度の季節性インフルエンザワクチンには、以下の3種類が含まれています。
- A/H1N1 亜型 (2009年以降の流行株)
 - A/H3N2 亜型 (いわゆるA香港型)*
 - B型*

※昨年度のワクチン株とは異なります

